


商品概要		西武新2000系前期形	情報公開日	情報更新日	
			2018年4月26日		
商品番号	商品名		シリーズ	税抜価格	発売時期
30763	西武新2000系前期形(狭山線・2513編成・ベンチレータ撤去後)4両編成セット(動力付き)		完成品	¥19,800	2018年9月
30764	西武新2000系前期形(池袋線・2503編成+2501編成・ベンチレータ撤去後)8両編成セット(動力付き)		完成品	¥35,300	2018年9月
 <p>写真は試作品です。 西武鉄道株式会社商品化許諾申請中</p>		西武新2000系は、2000系のモデルチェンジ車として1988年に登場した車両で、2両固定編成～8両固定編成まで様々なバリエーションがあり、2000系各グループとの併結による長編成での運用が見られます。2000系との違いは、戸袋窓が復活し側面窓の天地寸法が拡大され1枚下降式となっています。前期形には前面貫通扉窓が大型化されているグループもあります。 前期形は当初新宿線に投入されました。新製後間もなく前面スカートが取り付けられ、その後4両編成のクモハのパンタグラフが撤去されました。2012年以降ベンチレータ撤去工事も進められています。 その後もリニューアル工事が施され、現在でも西武鉄道の主力車両として全線で活躍しています。			
商品の特徴					
<ul style="list-style-type: none"> ■新2000系前期形の4両固定編成を製品化します ■狭山線で走っている2513編成と池袋線で走っている2503編成+2501編成を再現します。 ■フライホイール付きコアレスモーターを搭載し、安定した走行が楽しめます。 ■車両番号、社紋、シンボルマークは印刷済み ■前面方向幕(幕仕様)は印刷済み ■列車無線アンテナ、ヒューズボックスはユーザー取付け ■避雷器、ランボードは一体彫刻表現 ■一部の床下機器は近似形状 <p>※商品の仕様は一部実車と異なる場合がございます。</p>					
商品セット構成(編成図)					
←飯能				池袋→	
西武新2000系前期形(狭山線・2513編成・ベンチレータ撤去後)4両編成セット(動力付き)					
No.30763	◇ ◇				
種別:各停	I M I				
行先:西武球場前	クモハ2513	モハ2514	モハ2613	クハ2614	
西武新2000系前期形(池袋線・2503編成+2501編成・ベンチレータ撤去後)8両編成セット(動力付き)					
No.30764	◇ ◇		◇ ◇		
種別:各停	I M I I				
行先:池袋	クモハ2503	モハ2504	モハ2603	クハ2604	クモハ2501
				モハ2502	モハ2601
					クハ2602
別売対応品					
TOMIX TNカプラーJC25(密連型【電連付】・グレー)※要分解組立(先頭部のみ対応)					
TOMIX 室内照明ユニットLC(白色)					
GREENMAX 西武新2000系対応ステッカー					
弊社から発売中の主な関連商品案内			同一路線を走行する車両(一例)		
西武新2000系増結用先頭車2両セット No.30575/50017			西武6000系/9000系/30000系		